

第36回 無形文化遺産理解セミナー・ワークショップ 「堺と茶の湯文化～茶の伝来から茶道の成立まで」を開催します

堺市では、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が賛助するアジア太平洋無形文化遺産研究センター（IRCI）と連携し、無形文化遺産の保護の促進と活性化に取り組んでいます。第36回無形文化遺産理解セミナー・ワークショップでは、千利休を代表とする堺の茶人たちと茶の湯をテーマに、茶道資料館副館長の伊住禮次朗氏によるセミナーと茶の湯を体験するワークショップを開催します。

1 概 要

①セミナー：堺と茶の湯文化～茶の伝来から茶道の成立まで

日本への茶の伝来に始まり、利休の登場と茶の湯文化の成熟、そして茶道の成立までを辿ります。長い喫茶文化史のなかで、堺はどのような都市であったといえるのでしょうか。そのような視点で喫茶文化史を論じるとともに、今日における茶道の文化的価値や、継承における課題についても考えてみたいと思います。

②ワークショップ：茶室で体感する茶の湯の文化的空間

国の登録有形文化財である茶室「伸庵」で、講師のレクチャーを聞きながら、茶の湯を体験し、茶室という文化的空間の意義や魅力を知る時間とします。

2 日 時

令和4年12月11日（日）

①セミナー 午後1時00分～午後2時20分 ②ワークショップ 午後2時40分～午後3時40分

3 講 師

伊住 禮次朗 氏（茶道資料館 副館長）

4 会 場

堺市博物館（堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内）

①セミナー：堺市博物館ホール ②ワークショップ：堺市茶室（伸庵）

5 主 催

堺市

6 募集人数

①セミナー：70人 ②ワークショップ：20人

7 対 象
 小学生以上

8 参 加 費

①セミナー：無料 ②ワークショップ：1,000 円（抹茶＋生菓子）当日、茶室でお支払いください

9 参加方法<応募多数の場合は抽選>

往復はがきにてお申込みください。

※ご応募は①セミナーの参加申込として受け付けます。②ワークショップのみの参加はできません。



往復はがきの〔往信面〕に申込者住所、氏名、電話番号、事業名〔「堺と茶の湯文化」セミナー〕、〔返信面〕に返信先をご記入のうえ、以下の郵送先までお送りください。1 通につき 1 名。

②ワークショップ参加希望の方は、〔往信面〕の事業名に「ワークショップ参加希望」と追加記入してください。

往復はがき郵送先

〒590-0802 堺市堺区百舌鳥夕雲町 2 丁 大仙公園内 堺市博物館「無形文化遺産」係

<往復はがき 記入例>

返信おもて	往信うら	往信おもて	返信うら
 返信 自分の郵便番号 自分の名前 様 自分の住所 様	氏名 住所 電話番号 「堺と茶の湯文化」セミナー ワークショップ参加希望の方は 「ワークショップ参加希望」と追記	 往信 〒590-0802 堺市博物館 2丁 大仙公園内 無形文化遺産係	この線を外側に折る 記入しない

10 申込期間

令和 4 年 11 月 7 日（月）～25 日（金）（必着）

※返信はがきが 12 月 5 日（月）までに届かない場合は電話（072-245-6201）かメール（hakugaku@city.sakai.lg.jp）にてお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、状況により中止または延期する可能性があります。

来館の際には、マスクの着用や消毒液の利用など新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いします。

問 い 合 わ せ 先	担 当 課：文化観光局 博物館 学芸課 電 話：072-245-6201 ファックス：072-245-6263
----------------------------	---